介護サービス支援システム

長束晴弘*
平島保彦*

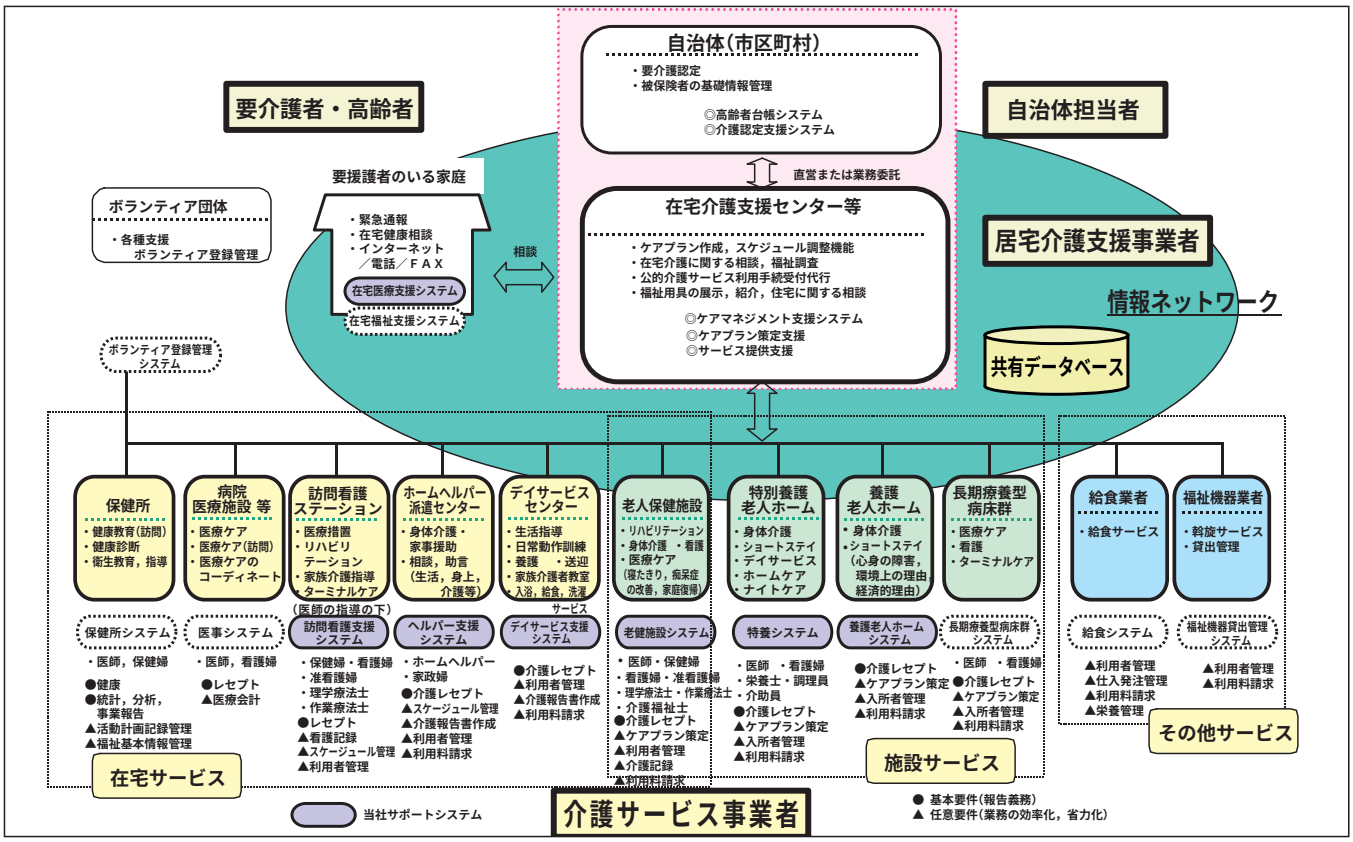
要　旨

少子高齢化社会を迎え，公的介護保険制度の施行開始を2000年４月１日に控え，福祉・介護に関する分野が今後期待される市場として注目されている。これら市場動向に照準を当て，これまで，地域ウエルネスのコンセプトに基づき，地域の高齢者のQOL(Quality of Life)向上を念頭に置いた地域連携情報システムを検討してきた。その中から特に介護保険制度導入に関連する事項に焦点を合わせ，介護サービス支援に関するシステムを開発した。

介護保険制度施行による高齢者の要介護認定から具体的受給サービスの計画策定及びサービスの実施までを一貫してとらえ，要介護者，自治体担当者，居宅介護支援事業者，介護サービス事業者に対する支援システムの開発を進めてきた。支援システムを大きく分けると，

(1)　自治体担当者向け支援システム
(2)　居宅介護支援事業者向けシステム
(3)　介護サービス事業者向けシステム
(4)　要介護者向けシステム

があり，これらの関連を下図に示す。



介護サービス支援系システムのイメージ

図は介護認定を行う自治体，認定以降居宅介護支援事業者(ケアマネジメント)，介護サービス事業者の関係を示すものであり，これら各々に必要な情報をネットワーク化する際のイメージを示すとともに，構成する各個別システムの詳細を示している。